

# 個別施策評価調書

部長	次長

主管部	教育局	対象年度	平成27年度
関係部	—		—
	—		—

基本施策	スポーツと文化・芸術を振興する			
個別施策	12 文化財保護の推進			
個別施策の方向	先人から受け継いできた、つくば市の多種多様な歴史・文化遺産をこれからも後世に伝えるため、市民がこれらに触れられる場の拡充に取り組む。			
これまでの取組概要	<p>つくば市の多種多様な歴史・文化遺産を後世に伝えるため、小田城跡歴史ひろばの復元整備を進めるとともに、巡回企画展などを実施することで郷土の歴史・文化に触れる機会を提供した。また、出前講座や展示施設での説明案内により、子供たちにつくば市の歴史や文化に関する知識と理解を深めることができた。</p> <p>H21年度から整備を進めてきた小田城跡復元整備は、H27年度中に土塁内手洗所建築工事、案内所外構工事、土木工事、展示工事と環境整備が完了した。</p>			
市民意識調査満足度	H27	30.0%	H29	参考値（第3次総合計画市民意識調査結果） 対象施策名：生涯学習の推進

平成27年度決算及び事業費内訳										(単位：千円)		
H27年度決算	事業費	356,366	人件費	21,747	事業コスト	378,113						
事業費内訳	国庫支出金	218,380	県支出金	0	地方債	63,800	その他特財	169	一般財源	74,017		

個別施策の代表指標名	指標種別	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値							
	実績							
	目標値							
	実績							
	目標値							
	実績							

個別施策の総合評価	
総合評価	<b>A</b> 施策の成果が確認でき、このまま継続して推進させるべきである。
自己評価	<p>小田城跡歴史ひろばの工事が、H27年度で概ね完了した。加えて、埋蔵文化財及び悉皆調査の調査件数が大きく増加したが、次のような成果を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巡回企画展来場者1,524人、企画展講演会95名、小田城跡親子発掘体験には8組19名が参加した。</li> <li>平沢官衙遺跡での催事は、4事業で合計6,400名以上の参加があった。</li> <li>学校教諭対象の研修会を2回開催した。</li> <li>パンフレットを15,000部刊行し各校に配布した。</li> </ul>

## 個別事業調書

個別施策	12 文化財保護の推進														
個別事業名	12-1	文化財調査事業				担当課	文化財課								
事業概要	文化財保存と開発の利害関係を円滑に調整するための埋蔵文化財調査、無指定物件を含めた文化財の所在や内容把握等を目的に各種詳細調査等を実施する。														
工程表	年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31			
	工程	運用													
	事業費(千円)	5,590		7,203		6,810		6,810		8,394		6,810			
事業指標	指標名	—				年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
		目標値	—				—	—	—	—	—	—			
		実績	—				—	—	—	—	—	—			
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋蔵文化財調査は、①各種開発等の伴う試掘・確認調査が31件、②非営利目的での本発掘調査が5件だった。</li> <li>悉皆調査は荃崎・谷田部地区で行い、追加対象が大幅に増えたため100件となった。</li> </ul>														
H27年度決算	事業費(千円)	7,203		人件費(千円)	8,335		事業コスト(千円)	15,538		正職員従事割合(人)		1.05			
									時間外勤務(時間)		200.00				
事業費内訳(千円)	国庫支出金	2,557		県支出金	0		地方債	0		その他特財	0		一般財源	4,646	
事業の進捗状況	達成：事業全体が当初の計画どおり達成された														
事業の有効性	高：成果が向上（高水準を維持）している														
事業の効率性	高：費用対効果が向上（高水準を維持）している														
総合評価	S：成果・費用対効果を維持して継続実施														
課題と改善目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋蔵文化財の取扱・調整・各種手続は遺漏無く行われるようになってきているが、未だにこれらの必要性について疑問を抱く事業者が多いことが課題である。この改善に向け、窓口や市役所ホームページで丁寧かつ徹底した周知を行う計画である。</li> <li>埋蔵文化財及び悉皆調査での大幅な調査件数増加は、そのまま時間外勤務の増大に直結している課題がある。この改善に向け、手続きや書類作成等において簡略化できるものを抽出し、効率化を図る計画である。</li> </ul>														

## 個別事業調書

個別施策	12 文化財保護の推進														
個別事業名	12-2	小田城跡保存・活用事業				担当課	文化財課								
事業概要	国指定史跡「小田城跡」を歴史公園として活用できるよう復元整備して貴重な文化財を後世に伝えると同時に、市民の生涯学習や観光資源として機能させる。また、保存のために必要な場合は土地を公有化する。さらに、本丸周辺部（遺構保全ゾーン）約71,000㎡を対象に、内容確認の発掘調査を実施する。														
工程表	年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31			
	工程	工事・調査・活用						調査							
		公有化						公有化（不定期に実施）							
事業費(千円)	172,284		222,300		57,949		11,484		6,962		0				
事業指標	指標名	—				年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
		目標値	—												
		実績	—												
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地は、年内に1422.45㎡を公有化した。</li> <li>・復元整備は、年内に土塁内手洗所建築工事と案内所外構工事が、年度末までに土木工事・展示工事と環境整備が完了した。</li> <li>・発掘調査は10月～2月に348㎡（平成27年度までの累計4,122㎡）で実施し、小田城最後の時代の平坦な生活面の下で堀跡を確認した。木製品は15点保存処理した。</li> </ul> 現地説明会は12月5日（土）に開催し、146名の参加があった。														
H27年度決算	事業費(千円)	222,300		人件費(千円)	4,888		事業コスト(千円)	227,188		正職員従事割合(人)		0.55			
											時間外勤務(時間)		300.00		
事業費内訳(千円)	国庫支出金	115,817		県支出金	0		地方債	63,800		その他特財	0		一般財源	42,683	
事業の進捗状況	達成：事業全体が当初の計画どおり達成された														
事業の有効性	高：成果が向上（高水準を維持）している														
事業の効率性	高：費用対効果が向上（高水準を維持）している														
総合評価	S：成果・費用対効果を維持して継続実施														
課題と改善目標	工事は、一部案内標識や説明板の設置が残るが、おおむね平成27年度で完了し28年度から公開を始めている。そのため今後は歴史ひろばの維持管理やイベント等の活用事業となるが、これについては別予算で対応している。今後の保存・活用事業として30年まで続く調査と必要に応じて不定期に実施する土地の公有化が残る。														

## 個別事業調書

個別施策	12 文化財保護の推進														
個別事業名	12-3	金田官衙遺跡保存事業				担当課	文化財課								
事業概要	国指定史跡金田官衙遺跡を貴重な文化財として後世に伝えるため、用地確保を進めるほか、将来的に歴史公園として活用できるよう整備をすすめる。														
工程表	年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31			
	工程	運用				運用				見直し					
	事業費(千円)	119,641		123,739		195,906		196,000		196,000		196,000			
事業指標	指標名	—				年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
		目標値	—				—	—	—	—	—	—			
		実績	—				—	—	—	—	—	—			
活動実績	5筆, 4,121.20. m <sup>2</sup> を買収, 平成22年度からの累計面積が2.4haとなった。														
H27年度決算	事業費(千円)	123,739		人件費(千円)	1,620		事業コスト(千円)	125,359		正職員従事割合(人)		0.20			
											時間外勤務(時間)		50.00		
事業費内訳(千円)	国庫支出金	98,991		県支出金	0		地方債	0		その他特財	0		一般財源	24,748	
事業の進捗状況	達成：事業全体が当初の計画どおり達成された														
事業の有効性	高：成果が向上（高水準を維持）している														
事業の効率性	高：費用対効果が向上（高水準を維持）している														
総合評価	S：成果・費用対効果を維持して継続実施														
課題と改善目標	平成28年度から購入面積を増加する計画のため、契約手続きの変更や日程に気を付けながら、円滑に調整・各種手続きを行い、年度内に買収を完了する。														

## 個別事業調書

個別施策	12 文化財保護の推進														
個別事業名	12-4	文化財展示活用事業				担当課	文化財課								
事業概要	郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深める機会を提供するため、文化財展示施設3館及び谷田部郷土資料館に収蔵されている史資料等を活用し、企画展や関連する講演会・体験学習等を実施する。														
工程表	年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31			
	工程	運用				運用				見直し					
	事業費(千円)	2,822		2,970		1,629		2,910		2,910		2,910			
事業指標	指標名	—				年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
		目標値	—				—	—	—	—	—	—			
		実績	—				—	—	—	—	—	—			
活動実績	<p>①巡回企画展『つくばの地形と歴史』を市庁舎・谷田部郷土資料館等で行い1,524名の見学者があり、筑波大学准教授による講演会は95名が拝聴し、小田城跡親子発掘体験には8組19名が参加した。</p> <p>②古文書講座を前・後期開催し、のべ59名が勉強した。</p> <p>③平沢官衙遺跡での催事は、4事業で合計6,400名以上の参加があった。</p>														
H27年度決算	事業費(千円)	2,970		人件費(千円)	2,764		事業コスト(千円)	5,734		正職員従事割合(人)		0.30			
									時間外勤務(時間)		200.00				
事業費内訳(千円)	国庫支出金	1,015		県支出金	0		地方債	0		その他特財	169		一般財源	1,786	
事業の進捗状況	達成：事業全体が当初の計画どおり達成された														
事業の有効性	中：適切な成果が得られている														
事業の効率性	中：適切な費用対効果が得られている														
総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施														
課題と改善目標	企画展の来場者数は、23年度から継続してきた事業形態がマンネリ化したことや期間内の学校見学者数の減少が影響したためか、昨年度(2,666人)から減少した。事業を効率化しつつ、展示施設に小田城跡歴史ひろばが新たに加わったことも踏まえた場所・期間・方法の見直しが必要である。														

## 個別事業調書

個別施策	12 文化財保護の推進														
個別事業名	12-5	学校での伝統文化教育支援事業				担当課	文化財課								
事業概要	市の歴史や文化財を、今まで以上に学校教育現場で活用し、‘教育日本一’を目指す市の教育目標を達成するため、各種教材を提供して学校との連携を図る。														
工程表	年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31			
	工程														
	事業費(千円)	241		154		250		250		250		250			
事業指標	指標名	—				年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
		目標値	—				—	—	—	—	—	—			
		実績	—				—	—	—	—	—	—			
活動実績	<p>①校内や近接地での出前講座や展示施設での説明案内により、市内外の子供達につくば市の歴史や文化財を伝えることができた。</p> <p>②学校教諭対象の説明研修会は2回開催した。</p> <p>③パンフレット類は1種類15,000部刊行し各校に配布した。</p>														
H27年度決算	事業費(千円)	154		人件費(千円)	4,140		事業コスト(千円)	4,294		正職員従事割合(人)		0.55			
											時間外勤務(時間)		20.00		
事業費内訳(千円)	国庫支出金	0		県支出金	0		地方債	0		その他特財	0		一般財源	154	
事業の進捗状況	達成：事業全体が当初の計画どおり達成された														
事業の有効性	中：適切な成果が得られている														
事業の効率性	中：適切な費用対効果が得られている														
総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施														
課題と改善目標	<p>○児童・生徒は郷土に関する学習等でインターネットを広く活用しているが、市役所ホームページにおける歴史や文化財に関する内容が充実していない課題がある。これを改善するため、市役所ホームページを大きく改訂する計画である。</p> <p>○増加する一方の各種調査や施設等の維持管理といった喫緊を要する義務的業務への従事に時間を取られ、本事業に本格的に取り組めないことが課題である。これを改善するため、各種調査の比較的少ない夏季等に集中して取り組むことをめざす。</p>														